

6. しっぽの森ボランティアサポーター活動紹介



令和3年度から始まった「しっぽの森ボランティアサポーター」の活動を紹介します。今回は、しっぽの森ボランティアサポーターとして活動しているM様にお話を伺いました。

しっぽの森ボランティアサポーターとは？

すでに、動物についての専門知識や技術を有して動物愛護推進員、譲渡ボランティアとして活動している方々で、しっぽの森の犬・猫の馴化や動物愛護管理啓発事業等に協力していただくことを目的とした登録サポーター制度です。

しっぽの森ボランティアサポーターに登録しようと思ったきっかけを教えてください。

動物愛護推進員に登録はしたもののコロナ禍であり、具体的な活動ができずにいました。そんな私にしっぽの森のスタッフさんからの声かけがあり「何からでもいい、やってみよう!」と思い登録しました。



しっぽの森のイベント等に御協力いただいておりますが、印象に残っているイベントや実際にサポーター活動をされて良かったことを教えてください。

印象に残っているのは『お出かけしっぽの森』です。子ども達にクイズをしながら犬や猫の事を沢山してもらおうという企画があるのですが、クイズの答えや説明をすごく聞いてくれていて、こんなにも興味をもってくれるのだとおどろきました。そんな子ども達をみていると誰かの為になっているのだなと実感でき、やって良かったなと思いました。

今後、しっぽの森サポーターとして、どういった活動をしたいと考えていますか。

今までと同じように保護犬・保護猫の馴化や身の回りのお世話も続けたいです。その上で、しっぽの森の獣医師さんやスタッフさん達に色々なことを教わりながら携わった事のない譲渡活動などにも参加していきたいです。

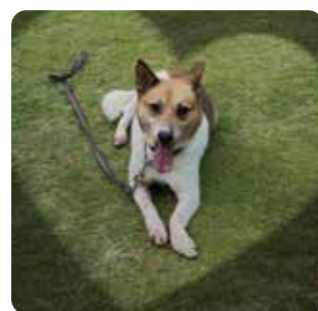


しっぽの森インスタグラムのご紹介



しっぽの森では、インスタグラムで譲渡動物やイベントなどの情報を発信しています。しっぽの森でトレーニングを頑張る犬や、ふれあいルームでくつろぐ猫、イベント開催の様子など、様々な写真と共に、しっぽの森の様子をお伝えしています。

@sanuki_shipponomori



是非一度、インスタグラム「しっぽの森_さぬき動物愛護センター」をご覧ください。



さぬき動物愛護センター
キャラクター: アイゴン

1. お出かけ!しっぽの森 in イオンモール高松
2. 新しい家族を待つちょっと成長した動物たち
3. 野犬のトリセツ ~犬を脱走させないために知っておくこと~
4. 犬を飼っている方々へ ~狂犬病予防法に基づく登録&予防注射について~
5. 新しい家族を迎えて ~しっぽの森から譲渡した犬や猫たち~
6. しっぽの森ボランティアサポーター活動紹介

1. お出かけ!しっぽの森inイオンモール高松

令和4年11月3日(木・祝)にイオンモール高松にお出かけして、譲渡前講習・譲渡会を実施しました。また、フォレストコートにブースを構え、犬や猫の適正飼養、ペットの災害対策などに関するチラシの配布やマイクロチップの読み取り体験も行いました。たくさんの方に来ていただいて大変有意義な出張譲渡会になりました。



併せて、令和4年10月29日~11月6日の間、動物愛護啓発パネル展示を行ったところ、お買い物中の多くの皆様が足を止めてパネルを見ていただきました。ありがとうございました。

2. しっぽの森で新しい家族を待つ犬・猫たち

新しい家族を待つちょっと成長した動物たち
センターで新しい飼い主さんを募集中の動物の一部を紹介します!

①センターでの呼び名 ②色・性別 ③アピールポイント

犬



- ① たろう
② 白 ♂(去勢措置済)
③ 最初は緊張してフリーズしますが、徐々に仲良くなれるタイプです。ちゃんと、人の様子を見ながら行動できる男の子。



- ① ラムネ
② 白 ♀(不妊措置済)
③ 初めての人には少し緊張しますが、すぐに仲良くなってくれます。真っ白に見えて、左腕にある黒いワンポイントの模様がチャームポイント。

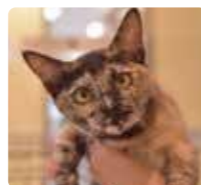


- ① おいも
② うす茶 ♂(去勢措置済)
③ 最初は、恐る恐る...ですが、実は、人懐っこい性格です。ごはんをモリモリ食べて、元気にドックランを走り回る男の子。

猫



- ① マリオ
② キジトラ ♂(去勢措置済)
③ ケージの中でのんびり過ごすのが好きな、丸顔マイペースな男の子。



- ① このみ
② サビ ♀(不妊措置済)
③ 抱っこすると最初はバタバタしますが、実は人にくっつくのが大好きな、きれいなサビ色の女の子。



- ① マリン
② 黒 ♀(不妊措置済)
③ 少し恥ずかしがりやですが、長い尻尾とつややかな黒色が特徴の、落ち着いた女の子。

3. 野犬のトリセツ ~犬を脱走させないために知っておくこと~

センターからお譲りする犬のほとんどは、野外で生活していた、いわゆる野犬またはその子どもです。そのため、自立心が強かったり、人への警戒性が強く残っている場合もあります。そういった犬を迎える場合、飼い主となる方が十分な準備と心構えをしておかないと、脱走したり、人に危害を加えたりする可能性もあるので、注意が必要です。

1. まずは室内での飼育環境を整えましょう

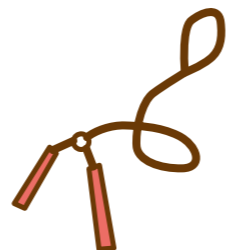
室内に、強固なケージやクレートを設置するとともに、生活に必要な食事場所、トイレなどを用意しましょう。また、室内であってもアンカー(重し)などを用いて係留するようにしましょう。

最初は無理に犬に構おうとせず、「人と同じ空間で生活する」ということに時間をかけて馴らしてあげてください。



2. 散歩時は特に注意をはらって

首輪は革ベルト式の丈夫なものを用い、できれば2本装着しましょう。首輪は指が1・2本入る程度にしっかりとしておくことが大事です。首輪やハーネスを用いて2本のリードを装着します。伸縮式リードは犬を制御できず危険です。一定の長さの丈夫な引き綱やチェーンを用いましょう。



3. もし逃げてしまったら

すぐにお住まいの地域の保健所や警察、市役所などに犬が逃げてしまったことを届け出るとともに、逃げた場所の周辺を探してください。探す範囲は逃げた場所から少しずつ広げるようにしましょう。

万が一の脱走に備え、普段から、不妊去勢手術の確実な実施や狂犬病予防法に基づく鑑札・注射済票の装着、マイクロチップの装着・登録をしておくことがとても重要です。

4. 犬を飼っている方々へ ~狂犬病予防法に基づく登録&予防注射について~

狂犬病とは、すべての哺乳類に感染する動物由来感染症で、日本の周辺国を含む世界中で患者が発生しており、発症したらほぼ100%死亡する恐ろしい病気です。

日本では、狂犬病予防法に基づき、犬の登録、予防注射が規定され、現在は、狂犬病の発生はありません。

しかし、平成25年に、日本と同じく、長年狂犬病の発生がなかった台湾で52年ぶりに狂犬病が発生しました。日本でも同様の発生が起こりうる可能性は十分にあります。飼い犬には登録と狂犬病予防注射をしておきましょう。

登録の際に交付される鑑札と狂犬病予防注射を受けた際に交付される注射済票は、必ず首輪などにつけましょう。小さなわんちゃんが着けても、邪魔にならない大きさの金属プレートになっています。

愛犬と飼い主さんを守るための大事なこと、忘れないでください。



5. 新しい家族を迎えて ~しっぽの森から譲渡した犬や猫たち~



Yさん御一家から、しっぽの森から譲り受けたわんちゃんとお子様が、仲良く過ごしている様子をお子様書いたお手紙と絵で教えてくれました。その一部を紹介します。

◎お母さまからのコメント

長女が「くんた」と名付けた子犬です。すくすくと大きくなり、家に来た時は4kgぐらいでしたが2か月たった今日ではかってみると10.4kgに!!たくさん食べて、しっかりねて、子ども達ときょうだいのように遊んで、ともに成長しています。おゆずりいただき大変感謝しています。大事に育てます。

☆犬との生活の満足度 90点 子ども達が積極的に世話をしてくれて、責任感ができた事が良かった。おしっこの失敗やいたずらの片づけが大変なので、満点ではないです。

◎お子さまからのお手紙~1~(一部抜粋)

しっぽの森のみなさんへ
まえにもらった犬は「くん太」という名前になりました。くん太は、もらった時は4kgぐらいでしたが、今は9.8kgになりました。
○月○日にやっと子犬でやるちゅうしゃはすんだので、ドックランに行きました。さいしょ、くん太は不安がっていましたが、すぐに他の犬とじゃれ合っていました。それを見たわたしは、楽しそうだったので、うれしくなって走りまわってしまいました。

◎お子さまからのお手紙~2~(一部抜粋)

しっぽの森のみなさんへ
こいぬの名まえはくんたというなまえをつけました。くんたはそとがにがてです。だけど、だんだん慣れてきました。そんなくんたがわたしは大好きです。これからもだいにいかにぞくのなかにします。

